

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 金沢市立泉小学校 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他 (例：小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒921-8036

金沢市弥生1丁目26番1号

E-mail izumi-e@kanazawa-city.ed.jp

Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/izumi-e/

幼児児童生徒数 男子 297名 女子 291名 合計 588名

幼児・児童・生徒の年齢 7歳～12歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

### 1 ユネスコスクールとしての取組

ユネスコスクールとして、環境教育、国際理解教育、伝統や文化に関する教育などの分野を通じて、人と社会・自然・世界などのかかわりについて学習する機会を設けるとともに、子ども達が自己の価値観や生き方を見直し、持続可能な社会の構築に向けて行動できるように取り組む。

そこで、本校では、生活科や総合的な学習の時間を中心に各教科等との連携を図りながら、地域の社会事象や自然環境など子ども達が育つ地域を学習の場として設定し、具体的な活動や体験を通して学習を行っている。

### (2) 実践例

■1年生 「ぼくも、わたしも遊び名人～ならって遊ぼう昔遊び～」

地域のお年寄りの方と「昔遊びの会」を2回設定し、繰り返し関わり合った。1回目の交流は地域の昔遊び名人さんに旗源平という金沢に伝わる昔遊びやこま、けん玉などを教えてもらった。2回目の会に向けて、子ども達は自分も昔遊び名人になれるよう、繰り返し遊んだり友達と教え合って遊んだりして昔遊びに熱中する姿が見られた。このように地域のお年寄りの方との交流や友達と教え合って遊ぶことを通して、昔遊びの楽し



さだけでなく、地域の人や友達と関わり合って学ぶ楽しさを感じることができた。

### ■2年生 「町のすてきを伝えよう」

泉小校区には、古くから営まれてきた和菓子屋さんや伝統工芸品店、寺院群など、多くの人を訪れる場所がある。このような場所に繰り返し探検に行き、そこにある物だけでなく、そこにいる様々な人との関わりの中で、子ども達はたくさんのすてきを見つけることができた。見つけたすてきは、探検で出会った「まいどさん」になりきり、お家の人に紹介した。このように、町のすてきを見つけて伝える活動を通して、様々な人と関わる楽しさを感じ、自分達の住む町への愛着や誇りをもつことにつながった。



### ■3年生 「金沢の和菓子・茶道文化を学ぶ」

金沢は、日本三大和菓子処であるが、子ども達にとっては、あまり身近ではなかったので金沢特有の和菓子調べた。子ども達は、和菓子と深いかかわりがある茶道と和菓子づくりを体験したいという思いをもった。校区の、茶道の先生・和菓子屋さん大変協力していただき、子ども達は、意欲的に体験活動に取り組んだ。学習したことを生かして、自分たちでデザインした和菓子を和菓子屋さんで作っていただき販売したり、保護者を招いてお茶会を開催したりと子ども達の思いに沿って活動を広げることができた。



### ■4年生 「探ろう！加賀友禅の魅力！！」

校区の友禅職人の木村さん、藤村さんに教えていただきながら加賀友禅の制作体験をした。子ども達は、加賀友禅の制作の難しさを体で感じることで、改めて職人さんの技のすごさに気付くことができた。また、制作を通して加賀友禅に対する思いを深めた。作り手である職人さんの加賀友禅に対する熱い思いや願いに加えて加賀友禅の売り手、買い手の思いについても学び、加賀友禅のよさを発信したいと主体的に活動する姿が見られた。



### ■5年生 「伝えよう 私たちの加賀野菜」

加賀野菜という名前をよく耳にしているが、加賀野菜について知識が乏しいのが子ども達の実態であった。そこで、校区在住の「加賀野菜」の名付け親の方にお話をお聞きしたことから、子ども達は、「調べたい・育ててみたい・食べてみたい」と興味をもった。実際に源助大根を栽培したり、農家の方から疑問に思うことを直接聞いたり、スーパーに出向いてお客さんにアンケートをしたりする中で、源助大根の魅力伝えたいという思いが強まった。さらに、チラシをつくるために広告会社の方の力を借り、その魅力を広めることができた。様々な方々との関わりの中で加賀野菜の魅力についてふれることができた。



### ■6年生 「見つけよう！なりたい「私」将来を見つめて」

子ども達が今の自分を見つめ、将来について考えを深め前向きに生きていこうとする態度を育むことをねらった。働くことで自分を磨き、自分を向上させている人や、社会の中で自分の役割を果たし、貢献したいという思いをもっている人と出会うことで、働くことの大切さや、生きることについて考えることができるように様々な職業の人と出会う場を設けた。子ども達は、出会いを通して働くことについての自分の考えを見つめ直し、えることができた。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境 | <input type="checkbox"/> 2. エネルギー                 | <input type="checkbox"/> 3. 防災                      | <input type="checkbox"/> 4. 生物多様性            |
| <input type="checkbox"/> 5. 気候変動          | <input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性 | <input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産 | <input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和 |
| <input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉         | <input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育        | <input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費  | <input type="checkbox"/> 12. 貧困              |
| <input type="checkbox"/> 13. エコパーク        | <input type="checkbox"/> 14. ジオパーク                | <input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)  |  |
| <input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等      | <input type="checkbox"/> 17. その他( )               |   |  |

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

|   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力                | <input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力          |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度    | <input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度   |
| <input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度               |  |
| <input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )              |  |

ウ. 活動時間 (複数選択可)

|  |  |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間 |
| <input type="checkbox"/> 3. 特別活動等            | <input type="checkbox"/> 4. クラブ活動                |
| <input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )       |  |

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程 (指導計画) にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。(200~300字程度)

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

|   |
|---|
| <p>主に生活科・総合的な学習の時間の学習内容をユネスコスクールの活動と捉え、教育課程に位置付けている。指導方法の工夫や改善策として、学期毎に教育課程について修正を行い、年度末に内容や指導方法についても、成果や課題を挙げ次年度へとつなげている。</p> <p>生活科・総合的な学習の時間を他教科等と関連させることで、より子ども達につけたい力やつけたい資質・能力が育まれると考え、単元構想図をつくり、他教科等との関連を明らかにし取り組んでいる。また、泉小授業デザインを「①学習問題をつかみ見通しをもつ②学び合う③まとめ・振り返る」という流れで学校全体で生活科・総合的な時間に限らず行っている。</p> |
|---|

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度) ※チェック事項 1-4 に対応

金沢市全体として、金沢ふるさと学習を行っている。また、学校では地域の人・もの・ことを有効に使うにはどのようにすればよいかという学習会も行っている。

組織的かつ継続的に活動できるように全体計画を作成した。この全体計画には、学校の教育目標とどのようにつながっているか、どのような資質・能力をつけたいかなどの人・もの・こととの関わりを明らかにし学校全体で意識できるようにした。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

内部評価として、学校自己評価を学期毎に行い、その結果を分析し今後の具体的な活動につなげた。また、学校運営協議会を設置し外部評価も行っている。学校運営協議会と学校と連携として、学習支援や図書館支援を実施している。年に3回協議会を開き、取り組みについて効果があったか検証し更なる改善を話し合っている。このような取り組みから、子ども達の学びは豊かになってきている。今後は、もっと保護者・地域の力を活かした活動を取り入れていきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

金沢市は、「金沢子どもサミット」を開催し、そこで学習の成果を発表し合っている。他の学校の取り組みを知ることで、子ども達の視野が広がる。また、学習成果を模造紙大のポスターにまとめものを市の公共施設や地域の公立図書館に展示することで、地域の人に「学校と地域とのつながり」や「どんな学習をしているか」を伝え、地域の方に関心をもってもらった。

また、学校でも他学年の児童にも成果を発信している。このように学校で発信することで、「わたしもやってみよう」という思いや今後の学習について見通しをもとことにつながった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（200字程度）

中部地方 ESD 活動支援センターが主催した「ESD 交流会 in 北陸・長野～持続可能な社会形成に向けて結び、つながる～」に参加した。中部8県から、教員をはじめ県庁の方や地域の ESD に取り組んでいる方が集まった。日頃の実践報告を聞いた後、小グループでフリートークをした。普段はほとんど関わりのない違う職種の方と話をすることで、いろいろな考え方を知ることができ、今後の参考となった。実践報告を職員にも広めることができた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）  
※チェック事項 2-4 に対

児童が進学する校区の中学校（1校）とその校区にある小学校（2校）の3校で小中一貫7部会を開催している。その中に、総合的な学習の時間部会があり、各学校の総合的な学習の時間について情報を共有することで、小学校から中学校への学びがスムーズに行えるようにしている。今年度は、総合的な学習の時間で作成した成果物を交換して展示したり、ユネスコスクールで作成したポスターを交換して掲示したりすることで交流を図っている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

成果として子ども達は継続して学習を積み重ねていることで、地域に対する愛着や誇りをもてるようになってきている。例えば、地域の伝承する遊びに対し、「転校する子はもう金沢の遊びができないから、最後に一緒にやりたい」や「私達の先輩が作った昔遊びの道具だから大切にしないといけない」などといった子ども達の声があった。また、地域の伝統野菜を学習した際には、給食の献立に出てくると関心を示したり、スーパーでも野菜が売られているか見に行ったりする姿が見られるようになった。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

来年度も、生活科や総合的な学習の時間を中心に取り組んでいく。学習内容として、

第1学年 ぼくも わたしの遊び名人

第2学年 ぼくらは いずみっ子まいどさん！ 町のすてきを伝えよう

第3学年 金沢の和菓子・茶道文化を学ぶ 金沢の伝統行事を学ぶ

第4学年 金沢の伝統工芸を学ぶ 金沢の偉人に学ぶ

第5学年 金沢の自然を調べ知る 金沢の食文化を調べ知る

第6学年 金沢の歴史や伝統を調べ知る 見つけようになりたい「私」将来をみつめて 金沢のめざす都市像を調べ金沢の魅力を発信する

学習の重点として

1 つけたい資質・能力を育む単元構成の工夫

2 主体的・対話的で深い学びを培う学習指導の工夫

3 次の学びにつながる評価の工夫 を取り組んでいくことで、地域の人・もの・ことを活用していく。